

早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業について

早良南部地域活性化事業実行委員会

1. 事業の背景

早良区南部地域は、旧早良郡である入部以南の地域で、福岡市の都市計画における線引き以降、市街化調整区域として農業・森林環境の保全が行われてきた。平成23年度以降は、この緑豊かな環境を活用した地域活性化への展開を目指し、早良区南部地域活性化事業として、区役所の支援による勉強会や組織づくりが行われ、地域主導のイベントをはじめとしたまちづくり活動が展開されてきた。しかしながら、地域における空地の増加や高齢化、また農林業の担い手の減少といった問題はいまだ解決されておらず、今後の持続可能な新しいまちづくりが必要とされている。

そのような中で、福岡市は、市街化調整区域における移住・定住の促進や、新しいビジネス機会を創出するため、区域内における開発規制緩和策の制度づくりを行った。一方で、本制度の活用には地域住民の同意や一定の要件が必要なこと、比較的新しい制度であること、また制度の活用に向けたルールや手続きが住民にとっては複雑なことなどから、受け入れ側となる地域住民へ浸透していないといった運用面での課題を有している。



さわらの秋



早良みなみマルシェ

2. 事業の目的と共働の必要性

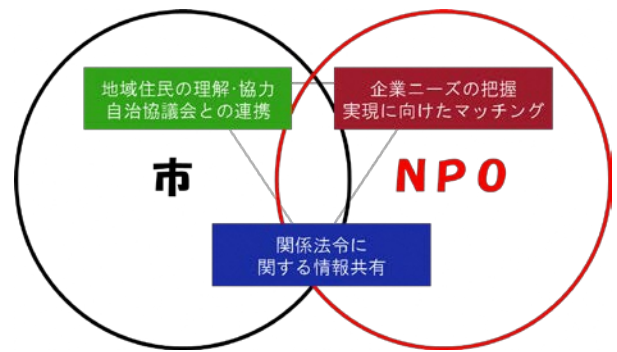
①事業の目的

早良南部3校区（脇山・内野・曲淵）は、周辺に豊かな自然や新鮮な農作物があり、また長い歴史や特徴的な文化、多彩なイベントと特産品、都市への良好なアクセスなどが魅力の地域である。これまで、早良区と各校区、また校区の枠を超えた地域のまちづくり組織である「早良みなみ塾」等の取組みにより、地域資源を活かすための活動が推進されてきた。一方で、少子高齢化や人口減少が進み、「交流人口の促進」、「自然・農村の魅力の活用」、「地域・事業者との共働の体制・仕組みづくり」への対応が重要な対応課題となっている。

そこで本事業では、市や地域の取組みと連動し、市街化調整区域の規制緩和に関する新制度の運用を見据えた魅力ある地域資源や既存ストックの活用策を、地域内外の様々な市民や団体・事業者等と共に検討し、持続可能な早良南部地域の新しいまちづくりにむけた共働の体制づくりや実践的な展開を図ることとした。

②市との共働の必要性

取組みを進めるにあたって、各校区の住民からなる自治協議会、町内会等の各種団体との密な協議が必要とされる。そのため、既存団体を把握している早良区が共働することで、より効果的に地域との調整を図り、事業の必要性の理解や信用、信頼を得ることができる。また、市街化調整区域の規制緩和策による建築物立地等に制限を及ぼす関係法令（農業振興法、土砂災害防止法等）に関して情報共有することで、より実現性の高い取組みの検討ができる。



共働の必要性と相乗効果

③NPOの役割

NPO法人環境文化プロジェクト機構は、平成21年度の共働提案事業として採択された「かなたけの里公園を拠点としたまちづくり」事業の実施経験を有しており、地域の事業づくりやそれらを実践する人材の育成事業に取組み、地域の様々な課題の解決法を提案、実践してきた。現在も、指定管理者と連携体制を図り、園外の農地を活用した地域共働による農体験プログラムを実践している。また、体験活動型の教育プログラムや地域の自然や文化をテーマとした事業活動を行っている事業者とのネットワークを有している。そのネットワークと、企画・広報・運営までをトータルで実践してきた。そのノウハウを活かし、実現性の高い取組みの検討を行う。

3. 平成30年度の事業成果目標

地域と都市の交流人口の拡大を契機とした、地域コミュニティの維持・活性化に向けて、平成30年度は以下の事業成果目標を設定した。

①早良南部地域づくりプランの作成

ワークショップの成果を基に、新たな交流促進を実現するためのプログラムとして「早良南部地域づくりプラン」を作成する。

成果：P35「地域と校区外事業者によるマッチングの取組み」

②住民・事業者向けの市街化調整区域の制度のガイドライン作成

勉強会の説明資料を基に、住民・事業者向けの市街化調整区域の土地利用規制緩和に関するガイドラインを作成する。

成果：市主導で新規ガイドラインを作成

③地域内における周知啓発

とりまとめた事業報告書を基に、概要版を作成し、校区回覧板で配布するなど周知を図る。

成果：概要版（参考資料）を基に、地域や校区外事業者に向けた周知啓発の活動を継続的に実施



地域づくりプランのイメージ

また、事業を進めるにあたっての、成果指標として①ワークショップへの参加者数、②アンケートを実施した事業者数（校区外）、③ヒアリングを実施した事業者数（校区外）、④試行プログラムの実施数（空家活用）、⑤試行プログラムノ実施数（空地・未活用農地）を設定した。

表：成果指標

成果指標	現状値	達成率	目標値		
			H30	H31	H32
①ワークショップ（ヒアリング・勉強会等も含む）への参加者数	60	50.0%	120	120	120
②アンケートを実施した事業者数（GAP調査として、ヒアリングの際に実施）※	18	60.0%	30	40	50
③ヒアリングを実施した事業者数※	15	300.0%	5	10	15
④試行プログラムの実施数（空家活用）	0	0	0	0	2
⑤試行プログラムの実施数（空地・未活用農地）	0	0	0	2	4

※より具体的で即効性の高い事業マッチングを進めるため、ヒアリングを重視している

①ワークショップへの参加者数に関して

計画時は脇山校区・内野校区・曲淵校区それぞれで、幅広い参加によるワークショップを計画していた。しかし、事前の地域との事前協議（事業内容①P5）や勉強会（事業内容②P6）で各校区から以下の要望が挙げられたことを受け、より実効性の高い体制で地域との協議を進めるため、個別での意見交換会の実施に重点を置き、より具体的な地域の課題を捉えることとした。（成果指標①）

脇山校区：各町内の特徴や課題が異なるため、地域全体へ参加を呼び掛けるWSでは、具体的な検討は進めにくい。各支会代表者へのヒアリングで地域の課題を捉えた上で、事業連携の可能性が高い地域住民・組織と実効性の高い取組みを検討していく。

曲淵校区：地域の実情を考えると、WS形式で進めていくのではなく、外部の事業者と協議した取組みのアイデアを地域に落とし込めるようにしてほしい。その事業で地域で協力できることは積極的に参加する。

内野校区：適時、情報提供を図っていく。

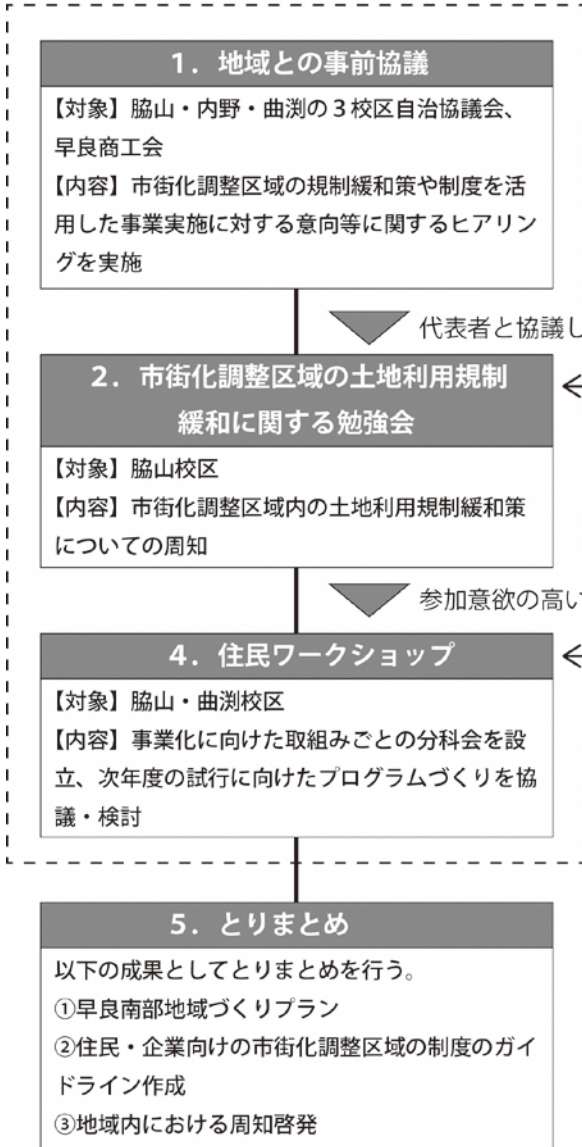
②アンケートを実施した事業者数に関して

より実行力を高めるため、幅広い事業者へのアンケートを実施するのではなく、具体的な連携可能性が高い事業者と直接意見交換を行うヒアリングを重視した。（成果指標②）

③ヒアリングを実施した事業者数に関して

予定数より増やし、具体的な活動に向けて、連携可能性の高い事業者とのヒアリングを重視して進めた。（成果指標③）

成果指標①



地域との意見交換の状況

成果指標②、③

3. 事業者マッチングに向けた意向調査
 【対象】参画可能性が考えられる企業や団体
 【内容】早良南部3校区での事業実施可能性及び事業内容、地域との連携に向けた可能性、実施に向けた課題等を確認



校区外事業者ヒアリングの状況

図 事業フロー

4. 事業内容

事業内容① 地域との事前協議

地域との事前協議は、脇山・内野・曲淵校区の自治協議会及び早良商工会を対象に、①本事業の概要説明及び事業実施に関する意見交換、②市街化調整区域における規制緩和の新制度に関する意見交換を行った。実施の日程及び成果を抜粋したものは以下の通りである。



早良商工会ヒアリング

表：地域との事前協議の概要

ヒアリングの内容	実施月	対象
説明事項：本事業の概要説明 意見交換：事業実施に対する意向	4月	脇山校区自治協議会会長 内野校区自治協議会会長 曲淵校区自治協議会会長、他7名 早良商工会事務局長
説明事項：市街化調整区域における規制緩和の新制度 意見交換：事業の進め方に関して	7-8月	脇山校区自治協議会会長 脇山公民館長、他3名 曲淵校区自治協議会会長 早良商工会事務局長

表：意見交換の内容

団体	事業実施に対する意向	事業の進め方に関して
脇山校区自治協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・良い取組みがあっても、人材や組織が不足しているため、協力者が必要。 ・脇山には主基斎田をはじめとする資源や様々なイベントがあるため、それらを活かして交流促進を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは地域全体の意見を確認してほしい。 ・住民が参加してしっかり考える機会が欲しい。
曲淵校区自治協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化が進んでおり、地域で主体的な取組みは難しい。 ・校区内にある10軒の空家や、来年度休校となる曲淵小学校を活用した取組みを、事業者の協力の下で進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会と一緒に現状を調査しながら、活用の方法を検討したい。 ・事業者によるウォーキングイベント等に、校区内の店舗が連携する仕組みを検討したい。
早良商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・市が実施している他の取組みとうまく連携しながら一体的に進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を進めるにあたって、早良商工会の青年部や早良みなみマルシェの実行委員会との連携を図っていくと良い。

各校区の自治協議会との事前協議を踏まえ、必要性、緊急性等の観点から、脇山校区、曲淵校区の2校区では以下の実施方針で進めることとした。なお、内野校区については適宜情報提供を行っていく。

●事業の実施方針

脇山校区：校区全体に向けた説明会を開催した上で、事業を連携して進める実行力の高い地域組織・住民を協議しながら、次年度の試行プログラムづくりを目指す

曲淵校区：事業者ヒアリングの成果を踏まえ、自治協議会や校区内の事業者と協議しながら試行プログラムを検討していく

事業内容② 市街化調整区域の土地利用規制緩和に関する勉強会

市街化調整区域の土地利用規制緩和に関する勉強会を、脇山校区を対象に開催した。また、勉強会の実施に向けては、市担当部局等と確認をとりながら、法令関連（農業振興法、土砂災害防止法等）といった事業実施に係る条件を整理した。

●脇山校区 勉強会

日時：9月6日（木） 19：30～21：00

場所：脇山公民館

参加人数：22名（各町内会より代表者が参加）

勉強会の内容

- ①今回の事業に関する説明
- ②市街化調整区域に関する説明
- ③脇山校区における今後の事業の進め方に関する意見交換



勉強会の実施状況

主な意見

- ・若い人にいっぱい来てくれるような呼びかけをして、具体的な取組みを検討していきたい。
- ・校区全体の意見を聞いた上で、取組みを進めていきたい。
- ・町内会レベルでも事業を周知した上で、地域の若い人が参加できる仕組みにしたい。
- ・農協や早良商工会などの青年部や早良みなみマルシェ実行委員会協力できるようにしていく。
- ・外から人を呼び込み、校区外との交流を促進したい。
- ・地域に雇用が生まれるような事業者とのマッチングを考えていきたい。
- ・事業者が求めているものを知っておきたい。
- ・地域の魅力に関して、校区内の住民ではなく、移住してきた人や事業者の意見を聞きたい。



勉強会の実施状況

●脇山校区 各支会代表者へのヒアリング成果

勉強会での意見交換の結果を受けて、脇山校区においては、支会・町内会毎に①地域の課題や魅力、②今後の進め方や事業への期待に関する意見交換を行うこととした。ヒアリングの実施状況と成果は以下の通りである。

表：ヒアリングの実施状況

ヒアリングの内容	支会	対応者	実施日
①地域の魅力や課題 ②今後の進め方に関して	第1支会 (町内会：谷、仙)	谷、仙の町内会長	10/29
	第2支会 (町内会：石塚、大門)	石塚の町内会長 大門の町内会長	10/29
	第3支会 (町内会：舟引、野田、志水)	舟引の町内会長 野田の町内会長 志水の町内会長	11/1
	第4支会 (町内会：栗池、門戸口、谷口)	栗池の町内会長 門戸口の町内会長 谷口の町内会長	11/12
	第5支会 (町内会：椎原)	椎原の町内会長	11/1



各支会・町内会でのヒアリング実施状況

表：ヒアリングの成果

支会	地域の魅力や課題	今後の進め方や事業への期待に関して
第1支会	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく店舗が立地することはすぐには難しいが、空家の活用は取り掛かりやすいかもしれない。 ・住民の半数近くが高齢者になりつつある ・農家よりも会社員の方が多い。 ・畑が少なく、田が多いため、特産品として出せる野菜は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなかアイデアが生まれず、実行もできていないため、活性化の事業の核となる人や取組みを検討してほしい。 ・ワッキー主基の里を活用できると良い。 ・労働力となる人材は多くおり、特に女性が働ける事業ができると良い。 ・レストラン農（みのり）のような施設が小笠峠に立地してくれると良い。
第2支会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に民芸等のイベントをしている古民家ギャラリーがあり、その取り組みに期待している。 ・脇山には病院が無く、高齢化が進む中で便利の良い場所に立地してほしい。 ・空家は複数あるが古くて活用が難しい。 ・評判の良かった焼肉屋が売り店舗になっている。店主はレシピと一緒に売り出そうとしているので、誰か見つかるとうと良い。 ・道が狭く河川の氾濫なども怖いため、インフラ整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多様な人が来てくれると良い。 ・農地を活用した取り組みを検討してほしい。 ・個々の動きでは閉塞しがちなので、将来イメージを明確にしてほしい。 ・ワッキー主基の里と連携した取組みがあると良い。 ・みはる荘のような宿泊、飲食施設があると良い。 ・脇山のお米をもっとPRしていく仕組みがあると良い。 ・校区外からの来訪者が増えると良い。 ・体験型のイベント等、これまでのものとは違うイベントが増えると良い。
第3支会	<ul style="list-style-type: none"> ・昔はソバ屋が有名だった。 ・小さな子供がもっと増えてほしい。 ・イノシシやサルによる獣害が深刻。 ・農家バイキングゆうでは地元の人が運営に関わっており、客も多い。 ・10年後、さらに空き家が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングや体験農園が期待できると思う。 ・高齢者も含めて働くことのできる場所や取組みができてほしい。 ・空家が多く、新制度の活用ができるかもしれない。
第4支会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や福祉施設が不足している状況で、今後の発展の軸となるものを考える必要がある。 ・耕作放棄地が発生することは、周辺の田畑への悪影響や不法投棄の発生を生み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市（区）で進めている脇山校区を対象とした事業の全体像を教えてください。 ・一過性のものでなく、継続できる取組みとしてほしい。 ・定住人口が著しく増えることは難しいと思うが、自然等の魅力を活かして交流人口を増やせると良い。 ・地域の農作物が消費されるような取組みになると良い。 ・地域の若手事業者と連携して取組みを進め、その結果を共有してほしい。
第5支会	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少大きな課題で、どう出会いの機会を増やしていくかが問題。 ・65歳を超えても働くことのできる環境が欲しいが、現状では難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脇山校区の中でも最も高齢化や人口減少が進んでいるため、単独での事業実施は難しい。校区全体の取組みであれば協力したい。 ・災害の影響がまだ残っており、その対応で多忙なため、新たな取組みに積極的に参加することは難しい…

事業内容③ 事業者マッチングに向けた意向調査

より具体的で即効性のある事業者マッチングの取組みを進めるため、事業連携の可能性が高いと想定される事業者へのヒアリングを重視し進めている。また、ヒアリングの際に早良南部地域の資源に関する認知度及び興味度に関するGAP調査（P20）を行っている。

●事業者ヒアリング（目標5団体 実施済み15団体）

8団体の事業者ヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は以下の通りである。また、ヒアリングの際は、これまで地域で協議されてきた既存資料などを踏まえ、早良南部地域で進める取組みのアイデアシート案(参考資料①)や地域概要(参考資料②)を提示した上で、意見交換を行った。

〈主なヒアリング事項〉	
・ 事業の内容に対する印象	・ 地域に対する印象や期待
・ 事業者の課題等	・ 取組みへの参画可能性

●対象となる事業者（NPO等の団体も含む）

対象となる事業者は、アイデアシート（案）で整理した食、農、アウトドア、健康といった取組みのキーワードから期待される地域と事業者の関わり方を整理した上で、連携可能性のある業種を想定した。

表：期待される地域と事業者の関わり

キーワード	期待する地域との関わり	想定される業種
食	地域特産品を使った食品開発 地域と共同での飲食・物販事業 地域特産品のPRや流通	食品会社 大型商業施設の管理運営会社 WEBサービス事業者
農	農業資材等の流通・販売 耕作放棄地等での農業体験 余剰野菜を活用した食品開発や収穫体験	ホームセンター 大型商業施設の管理運営会社 食品会社
アウトドア	事業者・商品PRと連携したイベント開催 自然体験プログラムの運営 地域密着型の宿泊施設	アウトドア・アパレル会社 NPO 民宿・ゲストハウス経営者 自転車製造・販売メーカー
健康	福祉施設の支援事業 地域めぐりの企画検討	食品会社 コンサルタント系事業者

そして、事業者選定に関しては、NPO及び市がもつネットワークを活用し、以下のようなニーズを有する事業者を選定した。

〈事業者選定の考え方〉
・ 中山間地域を対象とした事業参画を検討している事業者
・ 農業従事者との事業連携を検討している事業者
・ まちづくりや環境学習等に関する企画検討、運営のノウハウを有する事業者
・ 企業CSR等による地域貢献を検討している事業者

●事業者ヒアリングの成果

団体①

団体の概要：近隣の大型商業施設を管理運営する事業者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	企業ファンの獲得や地域貢献の一環で行っている、顧客サービスの農体験を継続・拡大していきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 地域の農作物の収穫体験や農地での定期的な栽培体験は、顧客サービス事業として行うと非常に需要が高いイベントとなる。 商業施設の集客イベントに地域の店舗が出店してもらえると魅力あるプログラムになる。特に、地域の名物となっている食品があると来館者が喜ぶ。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品が収穫できたり、近くでおみやげに買って帰ることができる場所があると、参加者満足度が高くなる。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 顧客サービスの取組みに関しては、それ自体には事業性が無いため、実施規模や時期が年度によって異なってしまう場合がある。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 農家と連携した農体験プログラム 例) 顧客サービスや福利厚生として実施する農地での収穫体験や栽培体験 校区内店舗と連携した地域PRイベント 例) 大型商業施設での集客イベントの際の地域PRイベント（平成31年5月の実施を検討）



団体②

団体の概要：九州を中心にフットパス（イギリス発祥の散歩道整備）による地域づくりを展開

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	フットパスの活動を広げていきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 事業でフットパスの企画や運営を行っていくのであれば、地域が主役となる仕組みが必要。 フットパスをはじめとする地域で行うイベントの考え方は、セルフで歩いてくれる地域のファンづくりを目指すことが大切である。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 民家等で地域の方が休憩や軽食の場を提供することが、来訪者の心をつかむ。すでに行われているようなウォーキングイベントに地域の方が協力して休憩・飲食の場を確保するとともに、少しではあるが収入になると良い。 フットパスは、来訪者が地域の風景や食、文化等を自分達で巡って楽しむファンになることが重要。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒト・モノ・コト」に加えて、トキ（感情・発見・感動）を大切にしたい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 地域を巡らせる仕組みづくりの協力 例) 早良南部地域を巡るフットパスコースづくりの提案、コースづくりに向けた講演会の実施



団体③・④

団体の概要：地域の交流拠点となるゲストハウスづくりを展開

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地域の交流拠点となるようなゲストハウスの運営を広げていきたい
事業の内容に関する印象	・中山間地域を拠点として、都市の中心部を巡る等、様々な観光形態のニーズをつかむことが大切。
地域に対する印象や期待	・インバウンドをはじめとするゲストハウスの利用者は、自動車による広域的な観光を目的とすることが多い。そのため、早良南部地域は天神・博多・佐賀・熊本方面を巡る拠点となりうる。 ・事業としていきなり参入するには、場所性や地域精度に課題がある。
事業者の課題等	・地域の人が運営する地域内外の交流を育むゲストハウスの運営ノウハウを広げていきたいが、地域にキーパーソンとなる人材がいなければ、活動が進みにくい。
取組みへの参画可能性	・ゲストハウスづくりのノウハウ提供 例) 地域の住民が運営する住民同士の交流を育む拠点となるゲストハウスづくりに関する講習会 ・民泊運営サイトへの登録 例) 民泊利用できる地域の空家を登録・利用者の斡旋



団体⑤

団体の概要：地域特産品を活用したカレー商品の製造・販売を行う

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	購買者となる地域の方の健康づくりや、福祉施設の運営に貢献できる事業を行いたい
事業の内容に関する印象	・お米を中心として、様々な農作物が作られているようなので、商品開発ができる可能性は高い。
地域に対する印象や期待	・主な購買者となる地域の方へ、自然素材の商品を提供することで食による健康を提供していきたい。 ・福祉施設が自主事業として運営していけるようにノウハウを提供していきたい。 ・規格外野菜や、食品加工する過程で発生する端材等を有効活用する商品開発ができると良い。
事業者の課題等	・独自のカレースパイスを活かし、地域住民への健康レシピの普及や福祉施設での授産商品としての販売を通じて社会貢献したい。
取組みへの参画可能性	・地域特産品を活用した商品の開発 例) 地域の特産品や規格外野菜等を活用した商品開発、事業者への商品提供 ・福祉施設による商品製造・販売支援 例) 福祉施設にレシピやスパイスをセットとして提供する委託事業、福祉施設による生産・販売・飲食の事業支援



団体⑥

団体の概要：九州最大のローソクメーカー

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	農家と連携し、ビニルハウス内の作物の品質を向上させるキャンドルの効果を検証していきたい
事業の内容に関する印象	・ 芯糸や蠟部分の端材を使って、地域の方と一緒にアイデアを企画していけると良い。
地域に対する印象や期待	・ 神楽等の伝統的な行事のライトアップは、人工的な光よりもローソクの自然な採光の方が映えるから、ぜひ使ってほしい。 ・ 古民家の施設等があれば、演出にローソクの光を活用してほしい。
事業者の課題等	・ ローソクを製造する過程で、必ず蠟や芯糸の端材が発生するため、それらを有効活用していきたい。
取組みへの参画可能性	・ 地域イベントとの連携 例) イベントにおけるキャンドルの提供、キャンドルアート作家の紹介、キャンドルづくり体験の開催、イルミネーションイベントでのローソク活用等 ・ ビニルハウスを所有する農家との連携 例) ハウス野菜栽培用のキャンドルを無償で提供しながら、その効果を実証に協力してもらう



団体⑦

団体の概要：全国に事業を展開する乳業メーカー

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	事業所が早良区に移転したことをきっかけに、市や地域へ貢献するようなCSR事業を検討している
事業の内容に関する印象	・ 自社では県外からの単身者が多く、余暇の過ごし方に悩みを持つ者も多い。大事業者が立地する都市においては、単身者をターゲットとしたイベントプログラムがあると良いと思われる。 ・ 大規模な食品メーカーでは地域の商品開発に事業として関わりにくい。そのため、CSRとしての側面が強くなる。
地域に対する印象や期待	・ 地域の魅力がもっとPRされて、また交通の利便性が確保されれば、余暇を過ごす場所として選択しやすくなると思われる。
事業者の課題等	・ 牛乳による健康づくり講座等を通じて、地域貢献（CSR）したい。 ・ 社内の単身者向けのイベントプログラムがあると良い。
取組みへの参画可能性	・ CSR事業の一環としての商品提供 例) 地域でのイベント等への試供品提供（事業者PRやファンの獲得） ・ 商品開発への協力 例) 地域の特産品と乳製品を組み合わせた商品開発等への協力



団体⑧

団体の概要：自然環境や地域資源を生かしたまちづくりに向けた取組みを展開するNPO

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	NPO環境文化プロジェクト機構とともに、西区の都市公園を対象とした環境教育プログラムを展開しており、今後の新たな事業展開や活動フィールドの拡大を検討している
事業の内容に関する印象	・早良南部の自然を生かした体験や環境教育のプログラムの企画運営を行っていききたい一方で、現地までの来訪者の交通手段の確保や人材の不足といった課題がある。単独での事業ではなく、複数の事業者での共同事業で進めていくことができると良い。
地域に対する印象や期待	・自然学校を拠点とした九州自然歩道の登山プログラムや、ファシリテーション研修を実施した経験がある。今後は別のかたちでも早良地域と関わっていいと良い。
事業者の課題等	・単独での自主事業として実施することは難しいため、現地への離合集散や広報、PRなどで他事業者と連携できると良い。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験プログラムの運営 例) インバウンドをメインターゲットとした自然体験ツアー、異業種交流や福利厚生等を目的とした事業者向けの体験プログラムの企画 ・アウトドアプログラムの運営 例) 地域の宿泊施設や学校の校庭等をつかったアウトドア体験プログラム



団体⑨

団体の概要：登山アウトドア向けWEBサービス・スマートフォンアプリの開発・運営を展開する事業者
表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地域の資源や人材を活用しながら、地域巡りや登山、自然散策などの拠点となるような自然学校を地域連携で運営する事業を展開したい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力や魅力の高い地域散策・登山プログラムを展開していくためには、早良南部にある農作物や宿泊施設、農泊や民泊、飲食といった資源を組み合わせたパッケージ化が必要となる。 ・点で存在する観光地はそれぞれ短時間の日帰りで行けてしまう。それぞれの資源に自然を楽しむ要素をマッチングさせてあげると滞在時間が延び、地域の経済に寄与する可能性も高くなる。 ・アプリを利用時のユーザーの登山経路等は全てGPSで記録している。その成果を活用することで、ユーザー目線でのコースづくりが可能である。他にも、ユーザーの活動日記をサイトで公開している。ユーザーの意見や活動内容、利用方法をしっかりと可視化し、公開していくことが大切である。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・早良南部を対象としたイベントや山開きの際の協力を実施しており、今後も地域での取組み等に協力していきたいと考えている。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアや登山、地域巡り等をテーマとした活動を通じて、新たなスタートアップ企業誕生に向け支援したい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーからの早良南部に関する印象や訪問状況に関する情報収集ができる。 ・ユーザーの情報をしっかりと取り入れた登山コース、トレッキングコースの提案ができる。 ・ユーザーに向けて、早良南部のPRができる。



団体⑩

団体の概要：博多駅に立地する大型百貨店の運営者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	店舗内でのイベントスペースでの出店ブースに関して、ワークショップ等の利用者にコトを提供するものを企画検討していきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・協力できそうな内容として農や食といった地域の特産品をPRする活動があると思われる。 ・博多駅前の広場で行われるような比較的規模の大きい特産品イベント等ではなく、年間を通じて様々に実施しているイベントのテーマの中で、早良南部の取組みにマッチしたものを選んで出店を検討した方が良いかもしれない。 ・地域情報の発信も事業の一環であるため、地域PRのための出店に協力は可能である。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・来客の傾向を考えると、地域PRや野菜などの食材のみでは集客力が不十分化もしれない。魅力的な2次製品や雑貨、ワークショップのような体験できるコトといったものが好評になりやすい。 ・集客できるコンテンツやアイテムをきっかけとしてブースに入ってもらい、中で地域情報をしっかりと伝えるような仕組みでも良い。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて様々なイベントショップを店内で行っており、体験型のコトができるものを展開していきたい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・出店に関しては、実施期間の3か月前から提案してもらえれば、内容を検討協議の上で可能である。 ・食に関しても、地価の食品イベントスペース等もあるため、関連部署への紹介も可能である。



団体⑪

団体の概要：西日本を中心に全国に店舗展開するホームセンター

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	顧客との新たな交流が生まれる農体験等を企画し、家庭菜園やガーデニングに関心を持つ顧客とのチャンネルを強化したい。
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業関連資材を取り扱う事業者として、地域の農の活性化に寄与する事業を展開したい。結果、地域の農家が元気になることで、商品の流通が促進されることが期待される。 ・ 中山間地の位置する店舗は多いことから、農業を中心として地域の課題解決に関わることで、地域から愛される店舗・企業となっていけると良いと考えている。 ・ 自社ファンを増やしていきたい。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家も多く、地域に自社をPRしていけると良い。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客（一般の市民、農家）と直接コミュニケーションが生まれる取組みを進めていきたい。 ・ 新たな企業イメージを生み出したい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の農家と連携した顧客サービスとしての農体験。 ・ 社員研修、福利厚生のための野菜作り体験。 ・ イベント時の出展（花苗・野菜苗・園芸関連用品の販売など）



団体12

団体の概要：背振山系も含む近隣での登山イベントを実施する登山・スキー用品の販売事業者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	登山のファン化を深化させるため、背振を舞台に登山教室を毎年開催し、知識技術の習得を支援したい。
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・事業や個人での活動を問わず、登山イベントのフィールドとして背振山系は昔から利用してきた。背振山系の魅力をぜひ広げていきたい。 ・福岡は、全国でも有数の登山との関りが深い土地柄にあり、昔から登山に関わる人材や団体はある。 ・最近の登山のニーズとして若い世代が増えつつある。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・背振山系は、福岡県の中でも有数の自然・植生が豊かな山地で、最も魅力的なフィールドといえる。 ・四季毎の自然の様々な魅力があるため、登山の上級者でも楽しめる。 ・公共交通の不便さやトイレのある駐車場といった拠点が少なく、イベントでの積極的な活用が難しい。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・登山教室等に一年を通じて参加し、登山のことを深く知っていく顧客を増やしたい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や他の事業者等と連携して、アプローチ性の改善や離合集散の拠点づくりが進めば、積極的に登山イベントを展開していける。



団体13

団体の概要：久留米市田主丸で植物の生産・仕入・販売・輸出入等を行っており、オリーブ等の加工品やインテリア商品等の2次製品化を展開している

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	自社周辺の維持が困難な農地や圃場を所有者から貸与してもらい、オリーブやパパイヤといった新たな商品展開が可能な樹種を栽培している。事業規模の拡大が進めば、自社周辺や地域を超えた範囲で栽培管理を行っていききたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に休校となる学校があるなど、現状は課題を抱えているようだが、福岡市内にある自然や農的な資源が残る中山間地は魅力的な資源である。それを活かした取組みが期待されていると思われる。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に事業が拡大していけば、福岡市に向けて流通、販売ができるような連携が図れると良い。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に仕入と生産が中心の事業であり、2次製品への加工は他社と連携している。今後、新商品として展開したいと考えているオリーブやパパイヤに関しては、特に卸先や流通の手段が不足している。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の遊休地などを活用して、オリーブやパパイヤの生産を委託することが可能である。オリーブは春先に葉を収穫して配送し、パパイヤは単年度更新で植樹し収穫を行うこととなる。 ・収穫もできる庭木等の今後の需要が高まっているため、今後の事業発展性はあると思う。



団体14

団体の概要：全国に店舗展開するアウトドアブランドショップ。店舗運営だけでなく、老朽化したキャンプ場の再生やリニューアル、管理運営を手掛けており、アウトドアに関連する様々なイベントも実施している

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	人間と自然が豊かに触れあえる自然志向のライフスタイルを提案し、実現することを目指している。非常に質の高い商品と、アウトドアによる五感を通じた体験を様々な事業を通じて提供している
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脇山校区の主基米をはじめとする農作物や田園風景といった資源は、アウトドアやキャンプとの相性が非常に良い。 ・ 曲淵にある野河内溪谷や小川での水遊びは、キャンプとの相性が非常に良い。 ・ 店舗が早良区にあることもあり、顧客向けのイベントサービスを実施する際に、南部地域はフィールドとして活用しやすい距離圏にある。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトドアやキャンプイベントを実施する際に、地域の資源を活かした体験型のコンテンツと連携できると良い。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトドアへの入門編のイベントとして、日帰り圏内での焚火プログラムを検討したいが、火を扱える場所が限られてしまう。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脇山中央公園や曲淵小学校のようなイベント等で活用可能性のある資源を利用して、顧客向けの日帰りアウトドア体験のプログラムを実施する可能性はある。 ・ 地域の人と協力した農体験等とセットで行うことができるとなお良い。



団体⑮

団体の概要：全国に店舗展開する自転車メーカー。自転車及び部品・付属品の製造や販売のみならず、サイクリング文化の拡大を目指し、各店舗でサイクリングイベントを定期的で開催している

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	<p>自転車を販売するだけでなく、自転車に乗ること自体を広げていきたい。そのためにも、自転車の楽しみを広げるイベントを展開しており、その場所も探している。会社としては今後店舗を増やしていく計画がある。また、九州や四国を数泊で1周するような旅行業も、関連会社と連携して実現させたい</p>
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> ・早良南部地域は、サイクリストに人気のエリアであり、現在も多いと思う。 ・イベントを展開していく上で良い地域なので、連携できることはあると思う。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> ・今は板屋峠が通行できなくなっているが、もともと人気の山道なので、通れるようになればサイクリストがまた増えると思う。 ・山間部であるため、MTB（マウンテンバイク）のフィールドとなると、MTB（マウンテンバイク）サイクリストは喜ぶ。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・MTBサイクリストは、乗って楽しめる場所を探しているが、なかなか場所が見つからない。山林は個人の所有地も多く、現在は積極的に利用できない状況となっている。 ・自転車販売は約2年～3年前がピークであり、現在は伸び悩んでいる。特に、男性客が飽和状態になっていることから、女性顧客を増やしていきたいと考えている（女性は全体の1～2割）。また、電動付き自転車も流通させていきたい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と協議、調整した上での山林を活用したマウンテンバイクのイベント実施やコースづくり（コース周辺の維持管理も含む） ・サイクリングイベントの開催や企業向けのサイクルガイドサービス事業の検討



●GAP調査

ヒアリングを行った事業者に対して、早良南部地域の地域資源について、①知っているかどうか、②興味があるかどうかを確認した。そして、回答結果を各資源の認知度と興味度として集計を行い、各資源の特徴を整理した。

○アンケート対象者：ヒアリングを実施した事業者 18 名

○対象とした地域資源

自然：野河内溪谷 曲淵ダムパーク 花乱の滝 坊主が滝

歴史：主基斎田 西光寺梵鐘

宿泊・飲食：湧水千石の郷 みはる荘

食：脇山茶 背振山系の水を使った蕎麦 脇山米 キャベツ小判
ブルーベリー農園カントリーファーム木苺舎

イベント：背振山系山開き 早良みなみマルシェ 子どもグリーンツーリズム

○認知度の選択肢：【①よく知っている～④知らない】の4段階

○興味度の選択肢：【①興味がある～④興味はない】の4段階

表：地域資源一覧

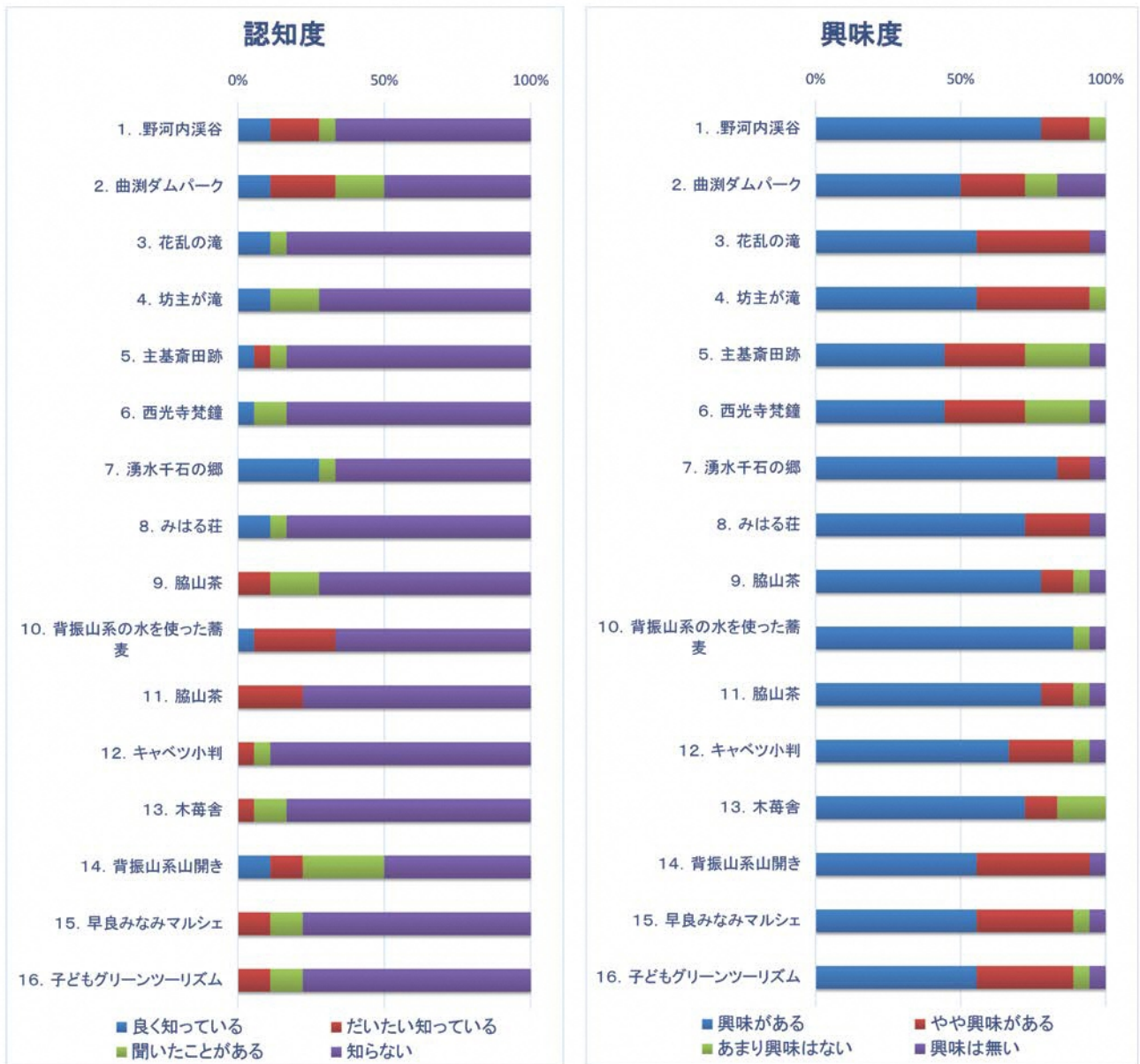
	名称	内容	認知度				興味度			
			良く知っている	だいたい知っている	聞いたことがある	知らない	興味がある	やや興味がある	あまり興味はない	興味はない
自然	1 野河内溪谷	福岡市内唯一の溪谷。市の中心部から40分のアクセスで、遊歩道があり、夏は避暑地として賑わい、秋は紅葉狩りを楽しめる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 曲淵ダムパーク	紅葉の季節には、カエデが色づく。周辺は木々の深い緑に囲まれ、耳を澄ますと野鳥のさえずりが心地よい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 花乱の滝	高さ15mから落ちる水しぶきが、花びらが乱舞するように美しいため、「花乱」の名がついたという説がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 坊主が滝	かつては、修行僧たちの修行の場所。滝つぼの前には展望スペースがあり、福岡市街を垣間見ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歴史	5 主基斎田跡	昭和天皇の即位の大礼である大嘗祭で献上される新米を作る田に当時の脇山村が選ばれたことを記念して造られた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6 西光寺梵鐘	年代の刻まれた梵鐘としては日本で5番目に古く、国宝に指定されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宿泊・飲食	7 湧水千石の郷	天然湧水100%の大浴場では福岡市内を一望できる。新鮮素材を扱うピュッフェでは、自家製スイーツが70種類以上並び。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8 みはる荘	老舗割烹旅館。別館のバイキングレストラン「農(みのり)」では、宿の名物料理をはじめ、子どもからお年寄りまで楽しめる品揃え。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食	9 脇山茶	米西禅師が中国から持ち帰ったお茶の種を背振山にまいたことが日本の茶の始まりといわれ、脇山の特産品の一つである。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10 背振山系の水を使った蕎麦	この地域には、背振水系の地下水を使ったそばを多くの店で楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11 脇山米	昭和天皇の即位の大礼である大嘗祭で献上米に選ばれたこともある美味しいお米。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12 キャベツ小判	特産品キャベツを使用し、地域に伝わる埋蔵金伝説にちなんだ、小判型の豆腐お好み焼き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13 ブルーベリー農園カントリーファーム木苺舎	25年以上前に植えたブルーベリーの樹が、夏にはたわわに実り、ブルーベリー狩りを楽しむことができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イベント	14 背振山系山開き	4月末に行われる市内最高峰の背振山を含む地域で行われる山登りイベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	15 早良みなみマルシェ	早良南部地域の特産品販売とステージイベントからなるイベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16 子どもグリーンツーリズム	1年を通して田植えや稲刈り、紅茶作りなどの農業体験を親子で楽しむイベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



図：地域資源一覧

●GAP調査の結果（単純集計）

各資源の認知度と興味度の単純集計結果は以下の通りである。

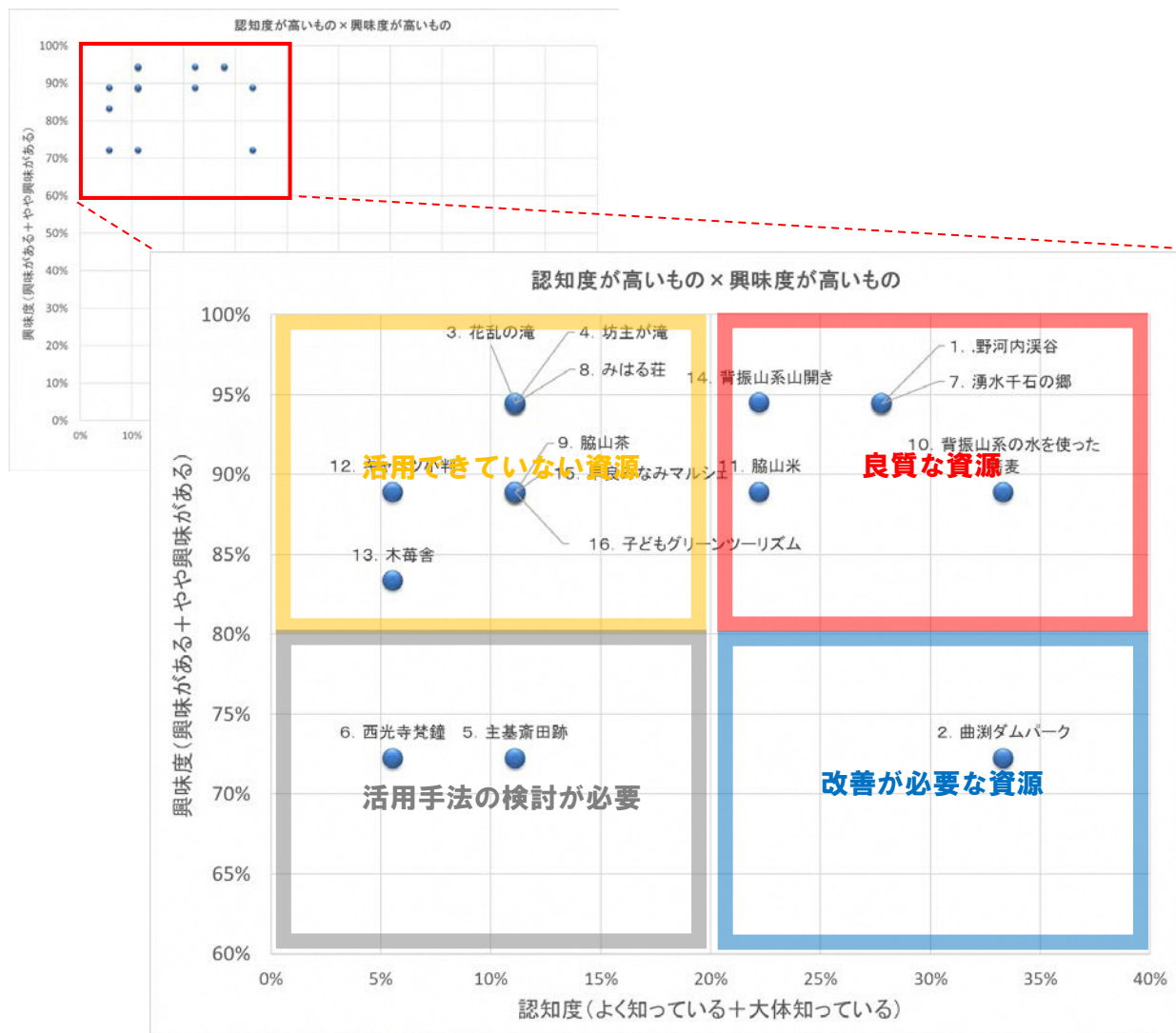


図：GAP調査 単純集計結果

- 早良南部地域の地域資源の認知度は低く、よく知っている、だいたい知っているの回答の合計が最も高いもので「1. 野河内溪谷」「2. 曲淵ダムパーク」「10.背振山系の水を使った蕎麦」の33%であり、最も低いものは「6. 西光寺梵鐘」「12. キャベツ小判」「13. 木苺舎」の6%であった。
- 一方、興味度は高く、興味がある、やや興味があるの回答の合計が最も高いもので「1. 野河内溪谷」「3. 花乱の滝」「4. 坊主が滝」「7. 湧水千石の郷」「8. みはる荘」「14. 背振山系山開き」の94%となり、特に自然と宿泊・飲食の資源が顕著であった。一方、最も低いもので「5. 主基斎田跡」「6. 西光寺梵鐘」の72%であり、他と比較すると歴史の資源はやや興味度が低いことがわかった。

●GAP調査の成果（散布図） 認知度が高いもの×興味度が高いもの

各資源の認知度と興味度の分布図を作成し、下図に示すように、「認知度・興味度がいずれも高いもの：良質な資源」「興味度は高いが認知度は低い資源：活用できていない資源」「認知度は高いが興味度は低い資源：改善が必要な資源」「認知度・興味度いずれも低い資源：活用手法の検討が必要な資源」の4種類に分け、認知度と興味度から見た各資源の特徴を整理した。



図：GAP調査 散布図

- 早良南部の地域資源を比較した場合、認知度・興味度がいずれも比較的高い資源は「1.野河内溪谷」「7.湧水千石の郷」「10.背振山系の水を使った蕎麦」「11.脇山米」「14.背振山系山開き」となり、いずれも自然や食に関するもので、これらは良質な資源として活用できる可能性がある。
- 認知度は比較的高いが、興味度が低い「2.曲淵ダムパーク」に関して、その魅力を高めていくための改善が必要であると思われる。
- 認知度は低いが、興味度が高い「3.花乱の滝」「4.坊主が滝」「8.みはる荘」「9.脇山茶」「12.キャベツ小判」「13.木苺舎」「15.早良みなみマルシェ」「16.子どもグリーンツーリズム」に関しては、自然・食・イベントに関するもので、これらは現状では十分に活用できていないが、魅力的な資源となるポテンシャルをもつと思われる。
- 認知度、興味度がいずれも低い「5. 主基斎田跡」「6. 西光寺梵鐘」は他の資源とは、異なる差別化した取組みでニーズに対応しなければ、現状では活用は困難といえる。

事業内容④ 住民ワークショップ

地域との事前協議及び市街化調整区域の土地利用規制緩和に関する勉強会の成果を踏まえて、今年度の住民ワークショップは脇山校区を対象として進めることとした。実施にあたっては、事業者ヒアリングで把握した事業者のニーズを共有することで、より実現性の高い取組みの検討を図っていくこととした。

●脇山校区でのワークショップの進め方

脇山校区では、地域との事前協議や勉強会、各町内会との意見交換を踏まえて、校区内の事業者や農協青年部等とのワークショップを行った。将来的な取組みの担い手となる人材とすることで、次年度以降の試行や運営体制づくりに直接的につなげていく。

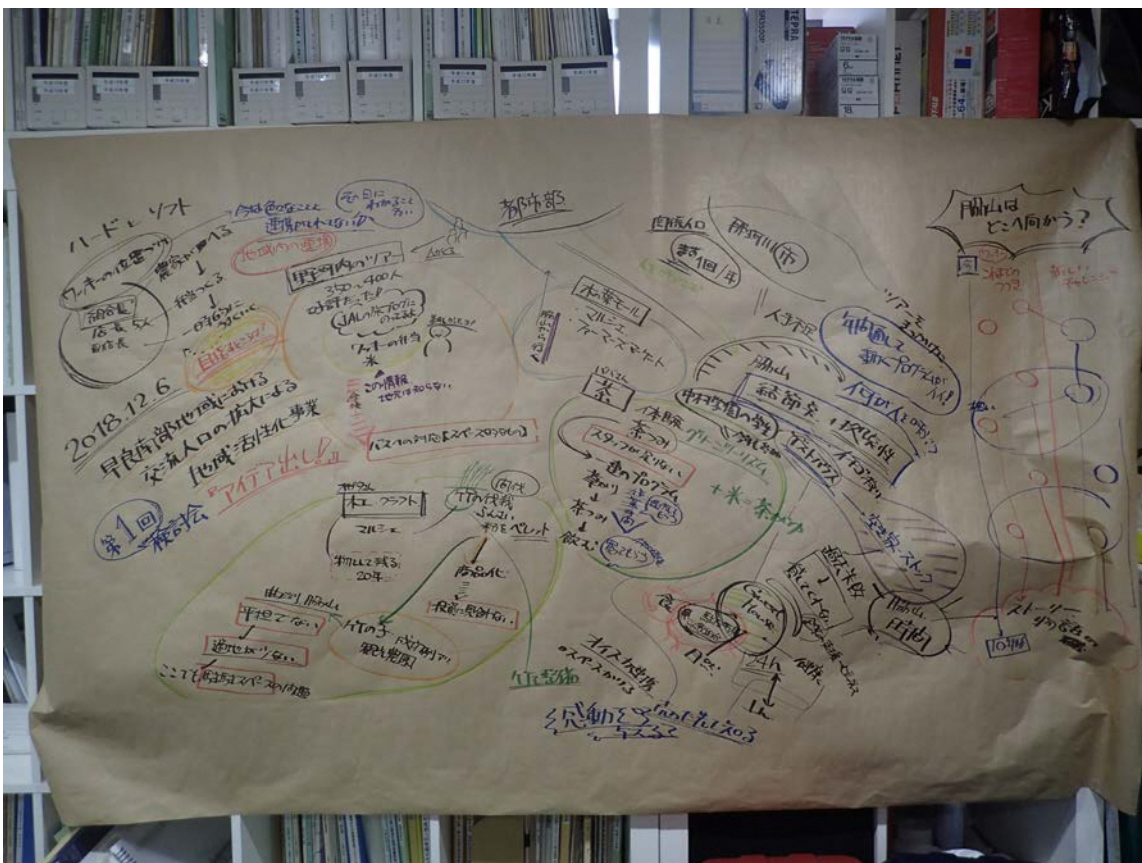
第1回ワークショップの実施状況

実施日：12月6日（木）

参加者：脇山校区の若手農家、校区内事業者等5名

当日の協議内容

- ① 今回の事業に関する印象
- ② 参加者が進めている事業や取組みの状況と課題
- ③ 連携したい取組み



ワークショップ成果

第1回ワークショップの協議成果

①今回の事業に対する印象

- ・ 交流人口の拡大に関しては、今後自分たちが事業を持続していく上で、必要な考え方だと思っており、教頭提案事業で進めようとしている取組みと方向性がある。
- ・ 自分達だけではアイデアがなかなか生まれない。実際の都心部側の事業者等の意見やニーズが聞けることは刺激になるし、商品開発等のヒントになると思う。積極的に関わっていきたい。

②参加者が進めている事業や取組みの状況と課題

- ・ 消費者と直接かかわることのできる仕組みを作るために、子どもグリーンツーリズムという子供のいる家庭向けの農体験を自主事業で行っている。しかし、少人数の体制で行っているため、参加人数や規模の拡大が難しい。
- ・ つながりのある事業者と一緒に、ジェラート等の商品開発を行っている。今後は市場に流通させていくことを進めていきたい。
- ・ 自分たちの取組みが、将来的には地域全体の活性化につながるようになることが、一番の目的だと思っている。ただ、現状ではなかなか地域で連携体制を作って、進めることが難しい。まずは、自分たちの活動を地域側にもPRして、巻きこんでいくことが大切である。
- ・ 先日の野河内溪谷の健康ウォーキング等、人がたくさん来るイベントで産直場から弁当が提供されたりもしたが、住民はほとんどそのことを知らない。
- ・ マルシェなどでクラフト教室を行っている。また、間伐した竹等を使ってのペレット化を検討しているが、採算性が低く実現していない。
- ・ 脇山や曲淵はタケノコの収穫体験をするには平坦な場所が少なく、離合集散の場所も近くに無いため実現しにくい。
- ・ 現状では、空家を活用することは難しいが、今後増えていく中で、検討する必要がある。ゲストハウス等が脇山に滞在する拠点となると良いが、外部の人が何に魅力を感じて、どうすれば人が呼べるかわからない。

③連携したい取組み

- ・ 5月上旬予定のお茶摘み、お茶づくり体験の実施
- ・ 商業施設等に出張しての産直PR
- ・ 7月上旬予定の紅茶づくり体験
- ・ 山林資源活用のプログラム

第1回ワークショップの成果を踏まえ、地域の若手農家代表者と取組み実現に向けてもっとも連携可能性が高いと考えられる事業者のマッチングのための打合せを行い、次年度実施に向けた試行プログラムの検討を行った。

第2回 事業者マッチングの打合せの実施状況

実施日：2月12日（火）

参加者：脇山校区の若手農家1名 校区外事業者（大型商業施設管理運営者）4名

当日の協議内容

- ①事業内容に関する情報共有
- ②次年度に実現性の高い取組みの検討
- ③実施に向けた課題



事業者マッチングの打ち合わせの様子

協議の結果、次年度の試行プログラム実施に向けて、以下の協議成果が得られた。

①大型商業施設での早良南部産直PRイベント

プログラムの概要：脇山校区を中心とした地域事業者が、大型商業施設の多目的広場を利用して産直販売・PRの出店ブースを運営する。

実施時期：5月下旬～6月上旬の休祝日

出店事業者：早良南部の事業者5団体程度

地域事業者への効果：生産物等の販売、PR

校区外事業者への効果・事業の位置付け：イベントを通じた誘客、地域連携事業

広報・告知方法：大型商業施設のHPで告知

②顧客サービスによるお茶づくり体験

プログラムの概要：校区外事業者が運営する商業施設への顧客に向けて募集を行い実施する、脇山校区でのお茶づくり体験

実施時期：5月上旬、7月上旬の休祝日

地域事業者への効果：生産物等の販売、PR

校区外事業者への効果・事業の位置付け：顧客サービスの向上、地域連携事業

広報・告知方法：大型商業施設のHPで告知

●曲淵校区での空家活用PRの取組み

①空家の現況調査

曲淵校区では、地域から空家の増加が重要な課題として認識されていることから、自治協議会と継続的な協議を進めながら空家活用の取組みづくりを行った。第1回目の活動として、自治協議会と共同での空家の現況調査を9月13日に実施した。その結果、以下のことが確認された。



曲淵校区の空家の現況調査

- 曲淵校区で確認された空家の数は10軒であった。
- 1軒は既に賃貸物件となっているが、現在は借主はいない。
- 空家の中には、老朽化しているものも確認された。
- 所有者の意向が明確になっているものは少なく、今後、賃貸等で活用を検討する場合は、所有者との協議がまず必要である。

②早良区健康ツーリズムにおける空家のPR

早良区では、区内の自然や食の魅力を活かした健康ツーリズムを実施している。今年度は、旅行会社と連携し、曲淵校区を対象として野河内溪谷から曲淵ダムパークまでの約3.5kmのウォーキングを行っている。到着地である曲淵ダムパークでは、脇山校区の「ワッキー主基の里」から販売された弁当で食事休憩が行われているが、その際に本事業での取組みとして①曲淵校区の空家活用PR、②脇山校区の農家の産直販売を実施している。

健康ツーリズムの概要及び本事業での取組み内容

健康ツーリズム

目的：人生100年時代が到来するにあたり、「誰もが心身ともに健康で自分らしく生きていける持続可能な健寿社会」の実現をめざし、早良区の食や自然、医療・介護ネットワーク等を活用した健康ツーリズムを通じて、区内の多様な団体、企業、専門家が健康づくりに関わるまちを目指す。また、少子高齢化が進む早良区南部地域において、健康づくりと誘客により交流人口拡大を進める。

実施概要

第1回健康ツーリズム：平成30年11月23日

ウォーキングコース：野河内溪谷～曲淵ダム～曲淵ダムパーク 約3.5km

その他の健康要素：健康弁当の提供（ワッキー主基の里）、健康ツーリズムの手引き、指体操等

参加人数：440名（早良区及び事業者の両者による募集案内の合計数）



準備体操



野河内溪谷



主基斎田碑



事業者による飲み物提供



曲淵ダムパーク



運営スタッフ

本事業での取組み内容

■曲淵校区の空家活用 P R

曲淵ダムパークで参加者が食事休憩をとる際に、健康弁当を配布する早良区のテントブースに曲淵空家活用 P R パネル (P 31) を設置し、また、ブース訪問者に説明チラシを配布した。



早良区テントブース

■脇山校区の農家の産直販売

脇山校区の若手農家と連携し、脇山の米とお茶の販売ブースを設置した。参加者のうち、150 名程度が訪問し、30 セット程度の商品が購入された。

出展者：脇山あぐり倶楽部 馬場氏 出品内容：脇山米と粉末茶（脇山茶）のパッケージ販売



産直販売ブース



接客・販売の様子



販売した商品

自然豊かな山間部で
鳥のさえずりや川のせせらぎを聞きながら暮らしたい・・・
山村でのカフェ経営に挑戦したい・・・

背振山系の豊かな自然が広がる曲淵地区での居住やビジネスに
ご関心のある方
右記の連絡先まで、ご相談ください



※写真はイメージです

空き家活用に興味がある方、曲淵校区について知りたいはこちらまでお問合せください。

福岡市早良区
総務部企画課
tel 092-833-4306



風通しの良い庭先のある家



家の広さを活かした宿の運営



自然の中でのカフェ経営

曲淵校区の概要



天神・博多から車で約45分
福岡市の自然豊かな校区です

曲淵校区は早良区の南部に位置します。背振山系の山林が広がり、福岡市の水源の森として大切に管理されています。曲淵パークダムや野河内溪谷を擁し、四季折々の自然の風景を楽しむことができます。ホテルや紅葉等の時期には、県外からも多くの観光客が訪れます。人口は200人を満たず、高齢化も進んでおりますが、飯場神楽といった地域の伝統が、若い世代にも大切に引き継がれています。



曲淵水源地・ダムパーク

野河内溪谷

飯場神楽

- ・**曲淵水源地**：大正12年にできた福岡市内で最も古いダム。その緑で囲まれた景観は、昭和60年に厚生省「近代水景百選」に指定された。ふもとは、もみじの紅葉や公園を囲む桜の花見が満喫できる、**曲淵ダムパーク**がある。
- ・**飯場神楽**：明治25年、糸島市の高祖(たかす)神社高祖神楽に習って始められたとされる。後継者不足で一旦は活動休止したが、地元の有志により平成16年に活動が再開された。
- ・**野河内溪谷**：福岡市街地からの気軽に行け、夏は涼を求めて、秋は紅葉見物と市民の憩いの場となっている。深い緑と清流があり、**自然歩道も整備**されている。**自然環境保全のボランティア組織**の活動も活発に行われている。

早良南部3校区の活性化に向けた取り組みを行っています
早良南部地域活性化事業実行委員会
(福岡市早良区・NPO環境文化プロジェクト機構)

曲淵校区の空き家活用PRパネル

事業内容⑤ とりまとめ

地域のニーズ及び事業者ニーズを整理し、次年度の取組み実施に向けた実現可能性を検討した。取組みのテーマを「農や食」「アウトドアや自然」「既存の取組みとの連携」「その他」に分類し、地域のニーズとそれに紐づく事業者のニーズ及び該当する事業者を整理した。さらに、実現可能性を探る上で、①実施主体となる地域団体や人材と連携の状況、②事業者との連携の状況及び①②の結果からみた実現可能性（③）の評価を整理した。

校区外の市民の地域への関り方からみた取組みの分類

来訪型：『呼び込む』校区外の市民を呼び込む取組み
回遊型：『たたく』校区外の住民が滞在する時間を延ばす取組み
滞在型：『巡らせる』地域資源を巡るための滞在の取組み

【農や食に関すること】

地域のニーズ		事業者のニーズ		
地域の課題	事業者へ期待する取組み	分類	事業者のニーズ・地域への関りの可能性	該当事業者
体験農園などの体験型のイベントができるとう良い	顧客サービス型農体験	来訪型	顧客サービスとして実施している農体験を拡大したい	団体① 団体⑪
	企業の福利厚生による体験型イベントの実施	来訪型	単身者向けの福利厚生プログラムが欲しい	団体⑦
お米や野菜を外部にPRしたい 地域の農作物が消費できると良い	商業施設での産直イベント	来訪型	運営する商業施設で産直イベントを実施したい	団体① 団体⑩
耕作放棄地を使ってほしい	耕作放棄地を活用した福利厚生・顧客サービスなどによる農体験	来訪型	顧客サービスとして栽培体験を検討したい 単身者向けの福利厚生プログラムが欲しい	団体① 団体⑦ 団体⑪
飲食、宿泊施設が立地してほしい	事業者による施設整備	滞在型	連携の可能性がある事業者が確認できていない	—

【アウトドアや自然に関すること】

地域のニーズ		事業者のニーズ		
地域の課題や要望	事業者へ期待する取組み	分類	事業者のニーズ・地域への関りの可能性	該当事業者
休校する小学校を活用してほしい	休校等を活用したアウトドアイベント	滞在型	日帰りでの焚火プログラムを運営したいが、受け入れ可能な場所が無い	団体⑭
ウォーキングイベントの際に地域のお店が売店できると良い (ワッキー主基の里等)	事業者主催のウォーキングイベント等の際の産直イベントや店舗での休憩・購入等	回遊型	ウォーキングイベントを行う際に、地域特産品の販売ブースやおみやげが買える店舗があると参加者が喜び	※
サイクリングイベントができるとう良い	事業者へのイベントスペースの提供と山林管理の委託	回遊型	マウンテンバイク利用者に向けた山間部でのサイクリングイベントを実施したい。ルート周辺の山林管理は事業者で行う	団体⑯
自然等を活かして交流人口を増やしたい	自然体験ツアーやアウトドアプログラムの運営	回遊型	早良南部の自然を活かした体験や環境教育のプログラムの企画運営を行っていききたい	団体⑧
山開きイベントを活性化したいが、活動の維持が困難になっている	地域の資源を活用した、登山やトレッキングコースの提案	回遊型	登山や地域巡りを通じて、地域の団体が自立した自主事業を行うスタートアップ支援を展開していききたい	団体⑨
	登山イベントの実施	来訪型	背振山系は福岡県でも有数の自然・植生が豊かで、積極的に活用したい	団体⑫
地域をめぐるようなイベントができるとう良い	フットパスコースの提案、コースづくりに向けた講演会の実施	回遊型	フットパスの活動を広げていききたい	団体②

※：早良区健康ツーリズム（P30）で連携した事業者と協議しながら、取組みを継続・発展させていく

次年度の実現可能性の評価や調整状況に関して

①実施主体となる地域団体や人材との連携の状況 ◎：具体的に協議を始めている ○：候補が確認できている △：現状では確認できていない

②事業者との連携の状況 ◎：実施に向けた調整を行っている ○：実施可能性が高い △現状では難しい

③次年度の実現可能性 A：実施に向けて調整が始まっている B-1：事業者との協議次第で実施が可能 B-2：実施する地域の団体・人材がいれば実施が可能 B-3：地域・事業者両者との協議次第で実施可能 C：次年度の実施は難しい
--

【次年度の実現可能性の評価や調整状況】

①実施主体となる地域団体や人材	②事業者等との調整状況	③次年度の実現可能性
◎ 脇山校区の若手農業従事者を中心とした団体	◎ 具体的な取組づくりを始めている	A
◎ 脇山校区の若手農業従事者を中心とした団体	△ 参加者の交通手段の確保が必要	B-1
◎ 脇山校区の若手農業従事者を中心とした団体	◎ 具体的な取組づくりを始めている	A
△ 受け入れ可能な農家の抽出と、現地場状況の確認が必要（離合集散等）	◎ 具体的か企画提案ができれば、実施の可能性が高い	B-2
△ 継続的な協議が必要	△ 連携可能性のある事業者とのつながりを生み出す必要がある	C

【次年度の実現可能性の評価や調整状況】

①実施主体となる地域団体や人材	②事業者等との調整状況	③次年度の実現可能性
◎ 休校予定の学校が利活用可能	○ 事業者との具体的な協議を進めていく予定	A
◎ 地域の事業者や脇山校区の若手農業従事者を中心とした団体	○ 事業者が継続的にウォーキングイベント実施していくかを確認	A
○ 提供可能な山林所有者はいるが、実施に向けては協議が必要	○ 山林所有者との協議を進めながら具体化を図る	B-3
△ 連携可能な団体や人材の関係作りを図る必要がある	△ 送迎手段の確保や人材の不足から団体H単独では実施が困難	C
△ 地域の受け皿となる組織・人材を育成・発掘する必要がある	○ 具体的か企画提案ができれば、実施の可能性が高い	B-2
△ 山開きを主催している団体による活動の維持が困難となっている	△ 登山をする際の離合集散となる設備が整った駐車場等が無いと実施しにくい	C
△ 連携可能な団体や人材の関係作りを図る必要がある	△ 継続的な調整が必要	C

【既存の取組みとの連携に関すること】

地域のニーズ			事業者のニーズ	
地域の課題や要望	事業者へ期待する取組み		事業者のニーズ・地域への関りの可能性	該当事業者
既存のイベントを活性化してほしい	イベントへの出店等	来訪型	集客イベントの際にキャンドルのPRを目的とした、キャンドルづくり講師の紹介や装飾用キャンドルの提供が可能	団体⑥
	イベントへの出店等	来訪型	花苗や野菜苗、園芸用品などの出張PR販売	団体⑪
	事業者共催により既存イベントの活性化	来訪型	連携の可能性がある事業者が確認できていない	—
空家を活用した取組みができるの良い	空家を活用したゲストハウス運営	滞在型	地域の交流拠点となるようなゲストハウスの運営を広げていきたい	団体③ 団体④
	賃貸可能な空家のPR	滞在型	※空家所有者の意向を確認した上で、現在の空家の賃貸利用の可能性をまずは探る必要がある	—

【その他】

地域のニーズ			事業者のニーズ	
地域の課題や要望	事業者へ期待する取組み		事業者のニーズ・地域への関りの可能性	該当事業者
病院や福祉施設が立地してほしい	事業者による施設整備	滞在型	▲連携の可能性がある事業者が確認できていない	—
地域の高齢者や女性が働くことのできる職場が欲しい	取組みにおける地域人材の活用	—	※今回の取組みに関しては地域に消費や雇用が生まれる事業を目指し、事業者と調整を行っている	基本的に全てに該当
地域にある古民家ギャラリーの活動に期待している	古民家ギャラリーの事業活性支援	来訪型	※事業者間の連携が必要かの調査が今後必要	—
※事業者提案の取組み	—	—	ハウス野菜栽培用のキャンドルを農家に提供することで、実証効果の調査と援農の取組みを進めたい	団体⑥

【次年度の実現可能性の評価や調整状況】

①実施主体となる地域団体や人材		②事業者等との調整状況		③次年度の実現可能性
△	現時点では、イベント等の実行委員会に新たな取組みを進める人的余裕が無い	○	具体的か企画提案ができれば、実施の可能性が高い	B-2
△	現時点では、イベント等の実行委員会に新たな取組みを進める人的余裕が無い	○	具体的か企画提案ができれば、実施の可能性が高い	B-2
△	現時点では、イベント等の実行委員会に新たな取組みを進める人的余裕が無い	△	連携可能性のある事業者とのつながりを生み出す必要がある	C
△	空家所有者の意向の確認が必要 事業の運営団体づくりや人材育成が必要	○	具体的か企画提案ができれば、実施の可能性が高い	B-2
△	空家所有者の意向の確認が必要	—	空家所有者の意向を確認した上で、連携可能な事業者を探る	—

【次年度の実現可能性の評価や調整状況】

①実施主体となる地域団体や人材		②事業者等との調整状況		③次年度の実現可能性
△	継続的な協議が必要	△	連携可能性のある事業者とのつながりを生み出す必要がある	C
—	個別の取組み毎で調整	—	個別の取組み毎で調整	—
◎	古民家ギャラリーの運営主体	※	他事業者との連携の必要性を調査する	—
△	受け入れ可能な農家の抽出が必要	◎	具体的か企画提案ができれば、実施の可能性が高い	B-2

今年度の成果を踏まえ、次年度の実施に向けた地域と校区外事業者のマッチングによる取組み(地域づくりプラン)は以下の通りである。

【農や食に関するマッチング】

地域側のニーズ

- ・体験農園等の農地を使ったイベントができるとうい
- ・地域の産物を外部にPRしたい
- ・飲食施設が立地してほしい



都市側(事業者側)のニーズ

- ・顧客サービスの農体験を拡大したい
- ・福利厚生プログラムが欲しい
- ・運営する商業施設で産直市を実施したい



行政のニーズ

- ・イベント提供の特産品を開発したい
- ・博多、天神、糸島と並ぶ情報発信を展開したい
- ・地元農家の支援、連携、魅力発信をしたい
- ・「食」と「健康づくり」の連携を展開したい

2019年実施予定の取組み

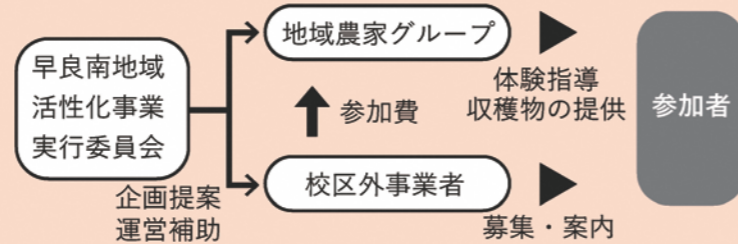
大型商業施設の顧客サービスと連携した『お茶づくり体験』

体験の概要:近隣の大型商業施設の管理運営事業者が、顧客サービスの一環として実施する。早良区脇山校区の特産品である脇山茶を使い、茶摘み、手もみ茶づくり、茶葉を発酵させる紅茶づくりを体験する。



地域への効果:特産品のPRや消費者との対話の場づくり
事業者の目的:施設来館者サービス、地域貢献、企業ファン獲得
実施時期:

- ①茶摘み・手もみ茶づくり 5月中旬
 - ②紅茶づくり 7月中旬
- 参加組数:20~30組程度



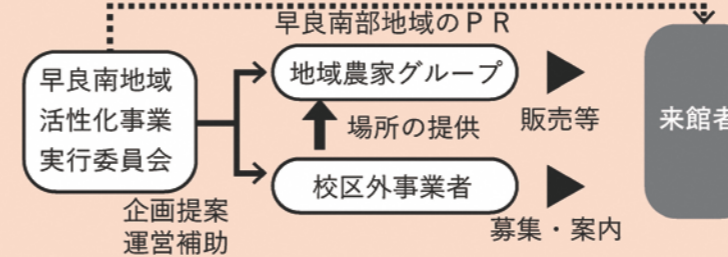
大型商業施設での産直販売イベント

体験の概要:近隣の大型商業施設の管理運営事業者が、休祝日における店舗イベントとして実施する。特産品や若手農家が開発した二次製品等の産直販売の他、早良南部地域のPRブース等も設置する。



地域への効果:特産品のPRや消費者との対話の場づくり
事業者の目的:施設来館者サービス、イベントコンテンツの拡大
実施時期:

- ①春季産直イベント 6月上旬
 - ②秋季産直イベント 10月中旬
- 出店者数:5組程度



今後のマッチングの可能性

農家が指導する農業体験等



- ・人材育成、企業研究の場としての貸農園
- ・原料調達としての企業農園
- ・外部の生産者による農作物の委託生産

地域との連携による健康食品開発



- ・地元野菜を活用した健康カレー等の商品開発及び販売
- ・福祉施設での授産商品のメニュー開発

【アウトドアや自然に関するマッチング】

地域側のニーズ

- ・休校する学校を利用してほしい
- ・地域を巡るツアーを開催してほしい
- ・サイクリングイベントがあると良い
- ・登山や山開きを活性化したい



都市側(事業者側)のニーズ

- ・日帰りアウトドア教室を開催したい
- ・登山や地域巡りのイベント地域と連携したい
- ・マウンテンバイク利用者向けのイベントを実施したい



行政のニーズ

- ・山開き等のアウトドアイベントを展開していきたい
- ・サイクリストへのアプローチしたい
- ・路線バスの利用者を拡大したい
- ・「自然体験」と「健康づくり」を連携した取組みを展開したい

企画調整中の取組み

地域の拠点を活用した日帰りアウトドア体験

体験の概要:アウトドアブランドが日帰りのアウトドア体験を、顧客を対象として実施する。周辺の食や自然環境を活かした、体験型のプログラムと連動させた、地域巡りとしての展開の可能性がある。



サイクリングコースづくり

体験の概要:サイクルショップが主催するサイクリングイベントと連携して、コースづくりを行う。サイクリングマップで、地域の店舗や観光資源を紹介することで、地域を巡る動きが生まれる可能性がある。



今後のマッチングの可能性

地域巡りプログラムの検討

- ・様々なテーマの地域巡りプログラムの運営
- ・アウトドアショップと連携した登山ツアー
- ・福利厚生事業としてのバスツアー

【既存の取組みとのマッチング】

地域側のニーズ

- ・既存のイベント活性化してほしい
- ・空家を活用したい
- ・イベント等を通じて、交流人口を増やしたい



都市側(事業者側)のニーズ

- ・イベントへ出店し、自社の商品PRをしたい
- ・空家を活用したゲストハウス運営を拡げていきたい



行政のニーズ

- ・イベントにおける提供プログラムの魅力向上を図りたい
- ・イベントの情報発信や広報を強化したい
- ・イベントへの集客力を強化したい
- ・イベントの運営体制を強化したい

企画調整中の取組み

自然と食の魅力を活かしたツアー(健康ツーリズム)

体験の概要:今年度実施した、早良区と事業者が連携して行った「健康ツーリズム」の継続を図る。今年度の成果を踏まえ、ターゲットの具体化や、地域の産物消費につながる健康増進の取組みを検討していく。



今後のマッチングの可能性

イベントへの商品提供とPR



- ・イベントにおけるキャンドルづくり体験
- ・ライトアップ展示の際のキャンドルの提供

空家活用に関する勉強会



- ・空家活用検討に向けた、地域ヒアリングの実施
- ・ゲストハウス運営者等による、空家活用の勉強会

5. 平成31年度以降への展開

本事業により、早良南部地域における新制度の導入可能性の方向性が定まることを受け、平成31年度以降においても継続的な支援を行うことが重要である。

2年目の事業展開（31年度）

今年度検討している新たな交流促進を実現するための「地域づくりプラン」運用に向けて、地域・事業者とともに試行プログラムを企画・運営していく。また、試行プログラムの成果は、今後の新制度活用に関わる事例集としてとりまとめ、周知を行うことで、効果的に事業の推進を図るものとする。

●想定される試行プログラムの例

①「農・食」をテーマとしたプログラム

- ・都市部事業者との連携による農体験や遊休地の有効活用
(顧客サービス・福利厚生・企業 CSR 等における農体験の取組づくり)
- ・地域産材を活用した農作物や加工品のブランド開発
- ・農作物における付加価値づくりや新しい作物の栽培

②「アウトドア・健康」をテーマとしたプログラム

- ・事業者主催ウォーキングイベントの開発とイベント時の地域 PR づくり
- ・アウトドアの魅力を PR するイベントの開発
- ・曲淵小学校を活用した取組づくり

③既存イベントの活性化プログラム

- ・事業者連携による地域集客イベントの活性化（主基の里収穫祭、早良みなみマルシェ、早良みなみ塾イルミネーション、お田植え祭り）

④店舗に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

- ・事業者向け意見交換会の開催

⑤住居に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

- ・規制緩和制度の活用に向けた地域部会の設置と空き家・空地の情報収集
- ・地域運営のゲストハウス検討部会

3年目の事業展開（32年度）

1、2年目の取組を踏まえ、早良みなみ塾や3校区対象として地域の新しい受け入れ体制づくりの実現を目指す。将来的に地域やNPOが校区住民と都市住民、事業者のニーズをマッチングする活動へと展開することを目指し、早良みなみ塾に分科会を立ち上げるなど、地域と共に検討を進めるものとする。

事業展開のイメージ



事業展開のイメージ

地域の拠点空間を中心とした「農と食」「アウトドアと健康」による地域づくりプラン

早良南部地域の特徴

- ・豊かな自然に恵まれた奥座敷 ・背振山系の清流を活かした農作物 ・都心への良好なアクセス
- ・地域が共同で実施する多彩なイベント(早良みなみマルシェ等)

地域の課題

- ①人口減少、高齢化 (空家・空地の増加、地域産業の担い手不足、地域コミュニティの活性化)
- ②市街化調整区域の土地利用 (大部分が調整区域、土地の譲渡・賃貸・建築物立地の規制緩和の実施)
- ③都市近郊での遊・食・癒への需要 (根強い日帰り旅行需要、農村体験、自然体験)

地域側のニーズ

- ・地域産業の担い手育成
- ・地域の交流拠点の形成
- ・地域の魅力資源の継承と発信
- ・既存ストック(空家・空き地)の有効活用

都市側のニーズ

- ・農村地域での体験活動
- ・農地や自然地での環境学習
- ・来訪者向け新規ビジネスの実現
- ・安心で安全な農作物等の提供

- 地域と事業者が連携した交流人口の拡大
- 資源の活用・情報発信・特産品開発等を通じた自然・農村の魅力活用
- 地域と事業者がマッチングする共働の体制・仕組みづくり

地域コミュニティの維持・活性化、定住人口増加へ

Plan-Keyword

- 『食と農』: 食育や農業体験・6次産業等を通じて、地域の農業に新たな可能性を
- 『アウトドアと健康』: 自然体験・健康増進を通じて、地域資源の新たな活用を

STEP 1:『呼び込む』校区外の市民を呼び込む力を伸ばす



STEP1: 呼び込む

- ▼ 校区外の市民を呼び込む力を伸ばす

STEP2: たたずむ

- ▼ 校区外の市民が滞在する時間を延ばす

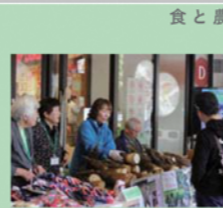
STEP3: 巡らせる

- ▼ 地域資源を巡る滞在型の体験

①早良区南部産直販売PR

博多等の福岡都心部や近隣の大型商業施設等での、早良南部の特産品販売や観光資源PR等を通じて、早良南部の魅力を市民に広く周知していきます。

- ・地域店舗による出張産直市 ・WEBを活用した特産品PR



②子どもグリーンツーリズムの活性化

脇山あぐり倶楽部が主催する、農業体験や地産地消の食育体験を、地域住民や校区内外事業者の連携を通じて、イベント規模やプログラムの拡大を図ります。

- ・企業の福利厚生による参加創出 ・事業者連携による活性化
- ・指導付き貸農園の運営



③地域イベントの活性化

「ワッキー主基の里収穫祭」、「早良みなみマルシェ」をはじめとする地域イベントにおいて、地域事業者の出店規模の拡大や出展内容の充実、校区外からの事業者による出張イベントの実施等により、活性化を図ります。

- ・ものづくり教室 ・収穫体験、加工調理体験等 ・農家による特産品トラック市
- ・キャンピングカー展示会 ・アウトドア商品展示即売会 ・ガーデニング展示販売会



STEP 2:『たたずむ』校区外の住民が滞在する時間を延ばす



STEP1: 呼び込む

- ▼ 校区外の市民を呼び込む力を伸ばす

STEP2: たたずむ

- ▼ 校区外の市民が滞在する時間を延ばす

STEP3: 巡らせる

- ▼ 地域資源を巡る滞在型の体験

④事業者連携ファーム

地域の拠点施設周辺の農地を活用した、特産品の収穫体験や遊休地での指導付き貸農園といった、農業体験の運用を図ります。

- ・顧客サービス、福利厚生としての野菜づくり体験
- ・人材育成、企業研究の場としての指導付き貸農園 ・原料調達場の企業畑



⑤多様な主体と連携した里山資源

NPOや市民団体、電力会社等と連携した、間伐材等を活用したクラフト体験や、里山保全に向けたボランティア活動を展開します。

- ・NPOや市民団体、ボランティアと連携した里山整備
- ・間伐材等を活用した森のクラフト体験
- ・木質バイオマス事業活用 ・福利厚生や顧客サービスによるタケノコ収穫体験



⑥地域探訪トレイル

四季の自然や地域の歴史、食といったテーマごとに、トレッキング・サイクリング・フットパス等の地域巡りの仕組みを作ります。

- ・アウトドアメーカー連携のキャンプ・トレッキング
- ・NPO等と連携した自然観察トレッキング
- ・地域資源を巡るフットパスづくり ・地域の歴史、自然と食を巡るサイクルトレイル



STEP 3:『巡らせる』地域資源を巡るための滞在型の体験



STEP1: 呼び込む

- ▼ 校区外の市民を呼び込む力を伸ばす

STEP2: たたずむ

- ▼ 校区外の市民が滞在する時間を延ばす

STEP3: 巡らせる

- ▼ 地域資源を巡る滞在型の体験

⑦地域の拠点施設を核とした6次産業

地域の拠点施設に、観光案内機能や農作物の加工施設、飲食・休憩施設等の機能拡大を図るとともに、地域内外の事業者連携による特産品の共同開発を推進します。

- ・B級品(規格外野菜等)を使った加工品開発
- ・地域の生産者と事業者による特産品共同開発
- ・拠点施設を核とした、地域全体での観光農園
- ・ワッキー主基の里の施設拡大プロジェクト(観光案内機能、農作物の加工施設、店舗面積拡大、ファーマーズカフェ、加工・流通・販売・案内・飲食・休憩機能の集約)



⑧空家を活用した滞在型観光プラン

地域の空家を活用して、市外からの来訪者に向けた宿泊施設、賃貸テナント利用、また、観光や交流施設としての運用を展開します。また、新規営農者やIターン層の誘致に向けた、空家の賃貸事業の検討も図ります。

- ・校区外の不動産事業者、建築設計会社と校区内の工務店等による空家リノベーション
- ・ゲストハウス、賃貸、テナント利用、お土産物・観光案内所、体験交流施設等への利用
- ・新規営農者、Iターン層の誘致に向けた空家賃貸事業



早良南部3校区の概要

① 脇山校区 人口：2,380人 世帯数：1,039世帯 (H28)

校区の概要

- ・早良区最大の広さをもつ
- ・三方向を背振山系に囲まれた自然豊かな校区で、**ホタルや紅葉**が楽しめる
- ・清流を活かして作られるお米(脇山米)が名産品となっており、**昭和天皇即位時の献上米**であった(主基斎田)。
- ・早良高校や自衛隊駐屯地、**海外農業交流施設(OISCA)**があり、田植えや稲刈り、餅つき等の校区行事が、世代や国籍を超えた交流の場となっている。



生産物や直売所等

- ・主要な生産物：米、キャベツ、ほうれんそう、かつお菜
- ・主な直売所：ワッキー主基の里

特徴的な取組や施設等

- ・オイスカ・脇山ふるさと広場：作物の栽培から収穫までを、専門家の栽培指導を受けながら体験できる農園。野菜指導のアシスタントとして、センターの海外留学生も加わっており、参加者は**農体験とともに、国際交流の機会**が得られる。
- ・公益財団法人オイスカ：海外開発協力、子供の森計画、人材育成、啓発普及を4つの柱として活動している。研修センターでは、食べ物や野菜販売の屋台、体験型イベント、ステージが楽しめる「**オイスカ収穫感謝祭・秋**」を行っている。
- ・グリーンツーリズムin わきやま：市内の子ども達とその保護者を対象にして、**田植えや稲刈り、紅茶づくりといった農業体験**等を行っている。
- ・脇山あくり倶楽部：地域の農家で構成される団体で、JAやオイスカ研修生と連携し、**農業体験や地産地消などの食育**を実施している。
- ・ワッキー主基の里：**約100名の生産農家で運営**される、野菜などの**特産品直売店**。秋の収穫祭をはじめとして、年間を通じてイベントを実施している。



主基斎田「お田植祭」



オイスカ収穫感謝祭・秋



ワッキー主基の里



グリーンツーリズム

② 内野校区 人口：6,502人 世帯数：2,863世帯 (H28)

校区の概要

- ・農業従事者の多い農村地区、転入者の多い地区、市県営住宅地区に大きく分かれる。
- ・春の桜、初夏の新緑、ほたる、夏の清流、秋の彼岸花や紅葉、冬の雪景色と、四季の移ろいを身近に感じることができる**自然豊かな地域**。
- ・**西光寺の梵鐘(ぼんしょう)**は平安時代初期のもので、制作年次がわかっているものでは5番目に古く、**国宝に指定**されている。



生産物や直売所等

- ・主要な生産物：米、たけのこ、かつお菜
- ・主な直売所：水源の里

特徴的な取組や施設等

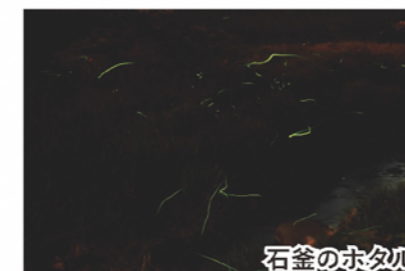
- ・**チューリップ祭り**：老人クラブ「ことぶき会」を中心にチューリップを植栽し、いろとりどりの約2万5千本が見ごろを迎える4月に、朝市や豚汁・かしわ飯の販売を行うお祭りを実施。
- ・**石釜地区のホタル**：室見川上流の上石釜地区のはホタルの鑑賞スポットとして有名で、6月上旬の数日限定で、西鉄バスによる「**ほたる鑑賞臨時バス**」も運行している。
- ・**坊主ヶ滝、花乱の滝**：坊主ヶ滝や花乱の滝など、背振山系には仏教との所縁が深く、修験僧たちの修行の場であったとされる。



チューリップ祭り



西光寺の梵鐘



石釜のホタル



坊主ヶ滝

③ 曲淵校区 人口：153人 世帯数：76世帯 (H28)

校区の概要

- ・ほとんどが背振山系の山林であり、福岡市の水源の森として大切に管理されている。
- ・**曲淵パークダム**や**野河内溪谷**を擁し、四季折々の風景を楽しむことができる。**ホタルや紅葉**の時期には多くの行楽客が訪れる。
- ・曲淵ダムは、大正12年に竣工した**福岡市初の上水専用ダム**で、平成20年に市の有形文化財に指定されている。
- ・三瀬峠を境として佐賀市と接していることから、**三瀬方面へ訪れる観光客**が多い。



生産物や直売所等

- ・主要な生産物：米、たけのこ、かつお菜
- ・主な直売所：水源の里

特徴的な取組や施設等

- ・**曲淵水源地**：大正12年にできた福岡市内で最も古いダム。その緑で囲まれた景観は、昭和60年に**厚生省「近代水景百選」**に指定された。心もとには、もみじの紅葉や公園を囲む桜の花見が満喫できる、**曲淵ダムパーク**がある。
- ・**飯場神楽**：明治25年、糸島市の高祖(たかす)神社高祖神楽に習って始められたとされる。後継者不足で一旦は活動休止したが、地元の有志により平成16年に活動が再開された。
- ・**野河内溪谷**：福岡市街地からの気軽に行け、夏は涼を求めて、秋は紅葉見物と市民の憩いの場となっている。深い緑と清流があり、**自然歩道も整備**されている。**自然環境保全のボランティア組織**の活動も活発に行われている。
- ・海っこ山っこスクール制度：小規模校特別転入学制度。自然環境を活かした教育活動を行っている小規模校の境域を希望する場合に限り、特別に指定学校の変更を認める制度。曲淵校区では、町内と曲淵小学校が連携し、**児童の育成指導や地元ぐるみでの交流の一環**として、子どもたちに**タケノコ掘り、田植え、稲刈り**といった**体験学習**を実施している。**※曲淵小学校は2019年3月休校**



曲淵水源地



飯場神楽



野河内溪谷



曲淵小田植え体験